

キャラクター名
七鳴星 巳琴

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス キュマイラ		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
	オプショナル		年齢	16	性別	女
覚醒	感染	衝動	殺戮		初期侵食率	34 %
出自	義理の両親		経験	二重生活	邂逅	同行者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	4	1	0			5	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	1	0	0			1	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	10		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
攻撃時使用を宣言		0				
ダイドウエポン抜剣!(ダイドウエポン使用)		0				クリ-2
セットアップ		0				
Howling*Sirius(ターゲットロック+攻勢変色+背徳の理)		6r		44		単体ターゲット 暴走 攻撃力UPはシーン中有効

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
			0		

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ウェポンケース					
コネ: UGN幹部					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
亜純血:ウロボロス	P	N			
S;父(狼)と母(蛇)	P 慈愛	N 不安			
学校の友人	P 友情	N 偏愛			
玉野 椿	P 尊敬	N 嫉妬			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	2	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセ(うる)	3	2	メジャー					
効果:	クリ-LV(下限7)							
ターゲットロック	3	3	セット	視界	単体	自動		
効果:	敵1体指定 シーン中に攻撃した場合攻撃+3*LV							
攻勢変色	4	4	セット	視界	単体	自動	L	
効果:	ターゲットロックの攻撃力+LV*5(ゾディアックでLV3→6)							
背徳の理	3	3	オート	至近	自身	自動		
効果:	ダメージ与えた時 攻撃の判定+2*LVD							
極限暴走	1		オート	至近	自身	自動	L	
効果:	「相手にダメージ与えた時」を暴走時に発動 基本+3							
統制者の王冠	1		常時					ピュア(D)
効果:	ウロボロスエフェクトの基本侵蝕値-LV 経験点を使った成長不可							
シャドーテンタクルス	1	1	メジャー					
効果:	白兵を射程10mに							
狩りの統制者	1	4						
効果:		★						
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

巳琴は「鶴神村」という小さな村で生まれた。そこでは毎年とある時期になると山の神様に少女を捧げる風習があった。しかし、巳琴が生まれた年には適齢の少女がいなかったため、生まれただけの巳琴が生贖として神に捧げられた。村の人間が進行する神とは古代から生きているAオーヴァードの白狼と白蛇であった。彼らは人語を理解し、毎年生贖として捧げられた娘を町へと返していた。しかし、今年捧げられた生け贖はまだ立つことすらできない赤子だったのだ。彼らは赤子を最低限の自己防衛、意思疎通ができる年齢まで育てることにした。巳琴は狼が教えた狩りの手法と戦いの体捌き、そして蛇が教えた自身の力を制御する方法を会得していった。そして巳琴が自身に眠る力を使いこなせるようになった時、彼らは巳琴を人間の元へと預けることにした。住処から少し離れたUGNの関連施設、山奥だが人間の気配はする。そこならばこの子を引き取って育ててくれるだろう。まだ理解力に乏しい巳琴に新しい家だと紹介してその施設に向かわせた。

施設はUGNの物品倉庫だった。そこに保管されていたのは、過度なシネグイド汚染された武器や EXジャーム由来の道具だった。巳琴はそこで自分を呼ぶような声を聴いた。声を頼りに辿り着いた先には禍々しい見た目の大剣があった。大剣を手にしたとき、それはまるで自分の使い慣れた道具であるかのように手に収まった。巳琴が剣を手にしたとき、周りにいたUGN職員たちは騒然とした。巳琴が手にした剣は振るった者の力を暴走させ、死に至らしめる呪いの剣だったのだ。UGN職員たちは突然現れて剣に適合した少女をチルドレンとして育てることにした。

巳琴はUGNの保護下ですくすくと育った。学生として一般の学校に通う傍ら、UGNチルドレンとして様々な任務を受けていった。